

## 山形で「雪崩災害防止セミナー」を開催しました

雪氷チーム

平成21年12月1日、山形市保健センターで「雪崩災害防止セミナー」（共催：山形県、後援：国土交通省東北地方整備局）を開催しました（写真－1）。このセミナーは、雪崩対策に携わる技術者や行政担当者を対象として、最近の雪崩災害の特徴と対策、最新の研究状況等について理解を深めてもらうことを目的として、寒地土木研究所の雪氷チームとつくば中央研究所の雪崩・地すべり研究センターが共同で企画・主催したものです。本セミナーは秋田（平成19年）、青森（平成20年）に続き3回目の開催となります。本セミナーの概要を、表－1に示します。

初めに雪氷チーム松澤上席研究員が、雪崩・地すべり研究センター石井所長と連名で「雪崩現象の基礎知識」と題して講演を行い、雪崩の分類や発生メカニズムなどの基礎知識を説明し、最近の雪崩発生状況や過去の大規模雪崩災害の調査結果及び土木研究所が行っている雪崩観測について映像を交えて紹介しました。続いて、（独）防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所の阿部総括主任研究員から「山形県内における雪崩災害について」と題して講演をいただきました。“現在の安全はこれまでの雪崩との戦いの遺産”として、山形県における明治から現在に至る雪崩災害史を当時の新聞記事を交え説明していただき、“雪崩との戦いは今も続いている”として、近年発生した雪崩災害の調査結果や、雪泥流や地震が誘発した雪崩などの事例が紹介されました。

土木研究所からの話題提供として、雪崩・地すべり

研究センター伊藤研究員が、「豪雪時における雪崩危険度評価手法の検討」と題し、多量降雪時に発生する乾雪表層雪崩を対象として、レーダー降水量と地形データから雪崩発生危険度を予測する方法を説明し、実際の雪崩発生事例を用いた検証結果について報告しました。

最後に雪氷チーム松下研究員が、「最近の道路雪崩対策の課題と研究成果」と題して、道路における雪崩対策の基本的な考え方を説明し、斜面積雪が雪崩予防柵をすり抜けて道路に達する現象など、近年雪崩対策の現場で課題となっている現象と、その対策方法や留意点について報告しました。

今回のセミナーには、国や県、市や町の行政担当者その他、警察、消防、自衛隊、コンサルタントなどの雪崩に関係する方々から124名のご参加をいただき、質疑の中で雪崩発生時の救助及び救護の方法についても説明して欲しい等のご要望が寄せられました。雪氷チームでは、今回いただいたご意見やご要望を参考に、今後も研究成果の普及や技術の紹介のためのセミナーや講習会を積極的に開催していきたいと考えています。

今後の開催予定などは、随時、道路雪氷メーリングリスト等を通じてご案内しますので、関心をお持ちの方はWebサイト (<http://www2.ceri.go.jp/news/archives/000078.html>) をご覧のうえ道路雪氷メーリングリストへ登録いただければ幸いです。

（文責：坂瀬 修）



写真－1 雪崩災害防止セミナーの開催状況

表－1 「雪崩災害防止セミナー」の概要

開催日時：	平成21年12月1日 13:30～16:00
開催場所：	山形市保健センター 大会議室 (山形市城南町1-1-1 霞城セントラル3階)
開催機関：	(主催) (独) 土木研究所 (共催) 山形県 (後援) 国土交通省東北地方整備局
講演：	「雪崩現象の基礎知識」 雪氷チーム 上席研究員 松澤勝、雪崩・地すべり研究センター 所長 石井靖雄
講演：	「山形県内における雪崩災害について」 (独) 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所 総括主任研究員 阿部 修
話題提供：	「豪雪時における雪崩危険度評価手法の検討」 雪崩・地すべり研究センター 研究員 伊藤陽一
話題提供：	「最近の道路雪崩対策の課題と研究成果」 寒地土木研究所 雪氷チーム 研究員 松下拓樹